

藤田保健衛生大学

提携講座



受講料：各1,500円＋税
※入会金不要

乳がんに関する“うそ”と“本当”

1月17日(土)
10:30～12:00

医学部乳腺外科 教授
内海俊明



現在、日本人女性は一生のうち16人に1人が乳がんになるといわれています。一方、アメリカでは8人に1人といわれています。また、日本の乳がん罹患率は年を追って増加しており、乳がんは日本人女性が最も注意すべきがんの一つであるといえるでしょう。

ある乳腺外来での会話。“私は乳房が小さいので乳がんにはならないと聞いていました。”巷にはこのような都市伝説的な話もあるようですが、間違いです。これはあくまでも一例ですが、正しく理解することは非常に重要です。乳がんに対して正しい認識を持っていただけるお話をしたいと考えています。

食物アレルギーの新しい予防法・治療法

2月1日(日)
13:30～15:00

医学部小児科 教授
柘植郁哉



従来、食物アレルギーは、食物の消化・吸収能力の未熟な乳幼児が、口から摂取した食物に感作されて起こるもので、また、乳幼児のアトピー性皮膚炎も食物アレルギーの関与が大きいから、感作されている食物は厳格に除去する必要があったと考えられてきました。ところが、ここ数年様々な事実の積み重ねから、バリア機能の弱った皮膚から侵入したアレルゲンこそ感作の原因で、乳児が適切な時期に食べ始めることは、むしろ食物アレルギーを抑えるのでは、と考えられるようになりました。この講座では、もう一つ、食べて治す経口免疫療法の話も含めて、上手に食べることによる、食物アレルギーの予防法、治療法について解説します。

子宮がん検査を受けよう

1月25日(日)
13:30～15:00

医学部産婦人科 教授
藤井多久磨



子宮がんには子宮頸がんと子宮体がんの2種類があり、発生部位や原因が異なります。どちらのがんも初期の段階で見つければ、治療可能ながんです。子宮頸がんの場合、ウイルス感染ががんに関与することが知られており、感染予防ワクチンも開発されています。

子宮頸がんは20～30歳代の女性で増加傾向にありますが、検診にて初期の段階で見つけることが可能です。20歳以上の女性ではがん検診として子宮頸がん検診は自治体を通して無料で受けることができますので、ぜひ受けていただきたいと思います。

一方子宮体がんは閉経期後に多いがんとして知られていましたが、最近では若者のがんも増加しており、不正出血などの症状がある場合には一度は婦人科を受診していただき、検査を受けることをお勧めします。

化粧品を安全に使うには

3月1日(日)
13:30～15:00

医学部皮膚科学講座 教授
松永佳世子



化粧品には石鹸、シャンプー、歯磨き、化粧水、乳液や日焼け止めなど、どれも毎日使うスキンケア製品と、ファンデーション、口紅、眉墨など美しく魅せるメイクアップ製品があり、また「美白」「アンチエイジング」などを謳った薬用化粧品も市場に溢れています。2011年、旧茶のしずく石鹸によるコムギアレルギーが、2013年ロドデノール配合美白化粧品による白斑が問題となり、自主回収されました。この2つの化粧品による健康被害は、どんな症状で、どうして発生したのか、そしてこのことから、化粧品を安全に使うにはどうすればいいのか、医療の現場から学んだことをお話いたします。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせ下さい。

※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。



南大高 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

0120-534-373 (月～金)10:00～18:00
(土・日)10:00～16:00

〒459-8001 名古屋市緑区大高町宇奥平子1-1 イオンモール大高1階

入会金不要・インターネットでの受付はしておりません